

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

7

July
2018

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



第24回さくらんぼ支部総会 記念講演
講師 有限会社壽屋 代表取締役 横尾友栄氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2018年度スローガン

「人を生かす経営」の総合実践で
地域と日本経済の発展に貢献しよう

社長の学校に行ってみよう



5月23日、山形国際ホテルを会場として第32回山形支部総会が開催され、60名が参加しました。

第1部総会では、「社長の学校に行ってみよう」をスローガンに、2018年度活動方針が決まりました。活動の先導役として、支部長には阿部秀顕氏、副支部長に伊藤誠氏、齋藤源氏、服部正氏が再任されました。

第2部の記念講演では、山形同友会初の外国人講師となるマイ英語スクール有限会社 代表取締役 平具蘭土来安(ヘイグランドライアン)氏より「外国の方から学ぶ社員教育～スタッフのコミュニケーションは会社の風土づくりから～」と題して講演いただきました。

同社は英会話スクールを中心に県内外に7校経営しています。2008年に社長に就任後、教育理念を大事にし、質の高い授業を提供することを心掛けています。そこで一番重要なのがスタッフの質であり、採用の際には、応募者に教育方針の提出、面接後にはデモレッスンをしてもらい、本当に教育を大事にしている人かどうかを基準に採用しています。

また、社員教育ではコミュニケーションを大切に、年に10回教室全てを閉校しスタッフ全員を集め、教育理念の説明やスタッフ同士のコミュニケーションの機会としています。また、週替わりで一部の教室を閉校して他の教室のスタッフが授業の様子を見学し、指導法等について共に学び合う環境づくりを実践しています。その成果もあり、スタッフ同士で休憩時間でも授業の話や生徒の今の問題についてアドバイスを聞くなど、教育理念を大事にする風土がスタッフへ浸透してきています。

最後にこれからの挑戦として「MYの良さを伝えながら良い人材を発掘すること。そして、MYのカルチャーを失わずに拡大し続けていくこと」と宣言し、盛会のうちに閉会しました。

第24回さくらんぼ支部総会

あなたの経営の悩みは私の悩み、共に学びましょう！



5月18日、まなびあテラスを会場として第24回さくらんぼ支部総会が開催され、26名が参加しました。

第1部総会では総会審議が行われ、活動の先導役として支部長には武内賢二氏、副支部長には菊地仁士氏、齋藤和彦氏が再任されました。また、スローガン「あなたの経営の悩みは私の悩み、共に学びましょう！」を発表し2018年度活動方針が決まりました。

第2部の記念講演では、東根市で漬物・地酒販売などを営む有限会社壽屋 代表取締役 横尾友栄氏が「笑顔の声で話しましょう」をテーマに講演しました。

横尾氏は大学卒業後、地元の放送局でアナウンサーとして

活躍。2008年に家業である(有)壽屋に入社し2011年に社長に就任します。接客をしている際に、事前に相手の情報を入れて取材等していたアナウンサー時代と、店舗での全く知らないお客様への接客の点で大きな違いを感じ悩みます。そこから接客・コミュニケーションにおいては、相手が求めていることを察して的確に提供することが大事であると気づきます。

そこでアナウンサー時代に使っていた様々なテクニックを活かせないかと考え「笑顔の声」で話すことを心掛けます。笑顔の声とは、こちらの笑顔が電話の向こうの顔の見えない相手にも思い浮かぶような声をいい、そのための大事な要素として①うなずき②ボキャブラリーを豊富に③印象のよい話し方④相手のペースにのせていただくの4点を挙げ、明日からすぐ実践できるコミュニケーション手法について実践を交えて説明しました。

最後に「言葉は人間だけに許されたコミュニケーション手段。言葉について、言葉を発する姿勢や態度について、もっとキチンと取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか？」と提起し、盛会のうちに閉会しました。

第14回庄内支部総会

皆で学び、気付きから実践へ 共に成長出来る庄内支部！



5月22日、グランド エル・サンにて第14回庄内支部総会が開催され、来賓7名を含む39名が参加しました。

総会では「皆で学び、気付きから実践へ 共に成長出来る庄内支部！」をスローガンとして、幹事会のチーム制度導入などを掲げた2018年度活動方針が採択されました。役員は板垣一紀氏が支部長再任、副支部長には成澤克志氏が選任されました。

記念講演では「伝統の継承と4代目としての実践」と題して佐藤食品株式会社 代表取締役 佐藤 賢一氏(秋田同友会理事・経営労働副委員長、青年部会「あすか会」部会長)にご講演いただきました。

昔ながらの佃煮屋だった佐藤食品(株)に後継者として入社した佐藤氏は、率先垂範で改革しようとするも社員や社長(当時)の父との関係で苦戦。新商品のヒットも社内不和の種になってしまうなど、壁に突き当たっていました。2011年に経営指針を創る会を受講。社長と向き合い、経営者の責任、事業の本質を突き詰め「素材を活かす食品製造業」としてのリスタートを決意しました。

計画に社員を巻き込めず苦戦するも、傾聴を重視し、聞こえてくる社員の本音に苦悩しながら向き合いました。そして採用、仕事の選別、組織再編など、試行錯誤の中で成果が出始めています。

最後に「私にとって伝統とは挑戦し、革新し続けるもの」と述べた佐藤氏は経営指針の全社一丸実践を壇上で誓い、会場は万雷の拍手に包まれました。



第4回新庄最上支部総会

自身の質を向上させ、自社の成長と共に、豊かな地域経済をつくろう！



5月21日、ニューグランドホテルを会場として第4回新庄最上支部総会が開催され、13名が参加しました。

総会では、「自身の質を向上させ、自社の成長と共に、豊かな地域経済をつくろう！」をスローガンとした2018年度活動方針が採択されました。役員は支部長として田中雅樹氏が再任され、副支部長には涌井洋一氏、佐藤奈緒氏、柴田慶一氏が選任されました。

記念講演は、新庄に本社を構える株式会社JPD 代表取

締役 菅 聡氏より「IoTが未来の生活・ビジネスを変える」の題で講演をいただきました。

(株)JPDはベトナムでのプライダル事業、東京の大手動画広告の制作などを経て料理動画を制作。スーパーとの連携、レシピをCMとして活用するなどの手法で、売り手が買い手に働きかける仕組みができています。

今後を見据えて、料理動画での地元食品PR、そして料理動画にとどまらず学校のCM、Vtuber(Virtual YouTuber)など、時代と地域に合わせたコンテンツも制作。新庄フィルムコミッションの業務請負で町おこしにも取り組んでいます。また社員のキャリアを考えて在宅ワーク等の取り組みを進め、今年度に在宅スタッフ100名を目指しています。

(株)JPDは、3年前7,500万円だった売り上げを昨年度は2億円ほどにまで伸ばしています。菅氏は料理動画を柱とする今後の展望を語り、大盛会のうちに第2部が閉会しました。



5月28日の第1回女性部例会では、「同友会と私」をテーマに、4名から同友会で学び気づいたこと、実践してきたことをリアルに資料やデータで示しながら報告していただきました。

委員会活動で社風づくり

平成23年入会した(株)フロッツ 五十嵐久仁子取締役は、定時総会のチラシ作成から始まり経営研究会実行委員、山形支部での例会報告、30周年記念式典の司会等、ハードルが高いと思われた担当を引き受けることで、その後の活動が楽になったと言います。この経験を活かし、バラバラの価値観の社風をなんとかかしたいと、部署を超えた連携で同友会企業への会社見学、委員会活動をスタート。また、今後取り組みたい仕事として地域活性の為のプロジェクトを開始します。

委員会には『つながる委員会』『いごち委員会』『わりむだ委員会』『まなぶ委員会』があります。委員長に新入社員を抜擢したことを契機にやらされ感から、自主的で全員参加型の活動に変わってきました。年1回の委員会活動の報告会には、学びに協力的な同友会の仲間をゲストに招き開催。刺激を受け合い目標に向かって各委員会が切磋琢磨しています。そして、五十嵐氏は「昨年度からプロジェクト(スタジオたねセミナー)を開始した。同友会の活用で、自社をチェックする機会に恵まれ、安定経営に少しずつ近づいている実感があります」と語りました。

同志としての関係が生まれる

5年前に入会した(有)長門屋 笹林陽子代表取締役は、家業を継ぐ事になり3年前に「経営指針をつくる会」受講します。修了生の助言から自分だけの言葉ではなく、広い視野から眺めて人の力を自分の力にすると、思っても見なかった事が自分にも会社にも生きてくるという事を実感。同友会で学び、自分、そして社員が揺り動かされて変わってきています。

3年前から幹部社員研修にも参加。社員が他業種の仲間と学び合うことは貴重な機会、大きな会社でも問題を抱えている事を知り、管理項目の導入提案などお互いに同志としての関係が生まれてきていると報告しました。

想いが波及

厨ダイニング 佐藤奈緒代表は、飲食店を2店舗経営しています。

第21期経営指針をつくる会を受講後、胸を張って『社会貢献』と言って良いんだという事に気づき、それを発信することが経営者の役割と知ることが出来たそうです。その後、新庄市から大蔵村に一つの店舗を移転、大蔵村産蕎麦粉・食材を使ったメニューを提供。地元テレビ局、地元新聞に掲載され、話題となり順調に伸びています。現在、大蔵村産トマトを使った『トマト蕎麦』を開発中。

佐藤氏は「地元の方と共に高齢化、人口減少に悩む過疎地をマイナスからの逆転の発想で盛り上げていきたい。地元企業が隣接地に産直等のお店を建設中で、同友会支部メンバーと共に想いは少しずつ波及していると感じている」と、自分の変化、現在の取り組みを報告しました。

経営指針・社員共育活動に取り組んで

同友会歴13年の(株)Hair with Water 赤塚治美代表取締役は2007年に経営指針セミナー、社員共育委員会参加後の変化を報告しました。

経営指針作成後、社員共育委員会へ参加し『経営指針を動かすのは社員』ということを知り、組織図を作成。ツリー型の組織図では自分の位置だけが目に見えて社員が育たない事を知ります。以前は今いる社員でどれだけ売上、利益を伸ばすかを考えていたそうですが、社員共育委員会で「社員は未来が見えなければやる気も引き出せず継続もない」ということを学び、3年後の組織図で目標を設定します。そして、「一人ひとりの社員が成長し、いい人生を送れるようにと考えるようになり、改めて採用と共育へ力を入れている」と語りました。

引き続きグループ討論が行われ、最後に庄司薫座長が、「10年前に発足した女性部会は2017年度山形支部例会で6名が報告をするほど成長しました。女性部の学びが自分を変え、少しずつ周りを動かしていく原動力になる。今年度も本音を語り合い、学び、寄り添いながら1年間学んでいきましょう」と、締めくくりました。

第2回女性部例会

女全交報告スペシャル

資本主義の父と言われた渋沢栄一〜シブサワスピリットに学ぶ〜

7月17日(火)14:00~16:30 場所:山形同友会事務局

報告者:阿部秀顕氏 後藤智樹氏 志田清志氏 赤塚治美氏
五十嵐久仁子氏 笹林陽子氏 矢作聖子氏

感動の報告です。ご参加お待ちしております。

7月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

老舗の常識は一般企業の非常識

2018.7.19(木) 18:30~21:00

場所: 山形テルサ リハーサル室
山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

報告者: (有)布施弥七京染店 専務 布施将英氏

先だって閉店した老舗書店や音楽CDショップのnewsは、着物屋の専務にとって対岸の火事とは思えない大きなニュースでした。スマホやネットのインフラが確立するこの時代において、消費形態が大きく変わり、シェアビジネスも台頭してきました。新しい時代の対局にある斜陽産業や実店舗・販売店の窮状が瀬戸際にあることは誰もが知るところです。そんな中で、どの業界よりも早くに下降線の成長曲線を迎えた老舗呉服店の専務は、様々な試行錯誤を重ねます。

着物屋さんの取扱商品は呉服、服飾品、宝飾品、健康寝具など。でも、本当の商品(価値)や強みは、お客様との関係を構築する人間力こそが、昔からの着物屋さんの強みであり真骨頂。しかし上記のようなライフスタイルの変化の中で着物離れが加速する現代。様々な取り組みに奮闘し老舗呉服店の歴史を現代に活かす布施弥七京染店の名物専務より、「老舗の常識は一般企業の非常識」と題してご報告頂きます。

寒河江支部

ビアパーティー!

2018.7.18(水) 19:00~21:00

場所: 寒河江申揚げだるま
寒河江市南町2丁目4-2 ☎0237-85-1808

特別講師: 山竹商店 代表 後藤武郎氏

参加費: 会員 4,000円+スペシャル日本酒代 500円
ゲスト 4,000円

7月例会はビアパーティーです! 寒河江支部の山竹商店後藤氏からミニ講義、山竹商店オリジナル日本酒など、お酒がもっとおいしくなる企画をご用意いただきました! おいしいお酒と食事を楽しみながら、普段は言えない経営の悩みや苦労、未来への夢を語りましょう。

是非お誘いあわせの上ご参加ください。

さくらんぼ支部

労働基準監督署がやって来るヤア! ヤア! ヤア! (A Hard Day's Night)

2018.7.24(火) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-4 ☎0237-53-0223

報告者: 社会保険労務士法人ルート企画 代表社員 菊地仁士氏

待望のシリーズ第4弾!! 労使見解を社会保険労務士の目線で、独自に労と使の間に入る労「ム」使見解を今回も話して頂きます。

今回は、働き改革と労働基準監督署がテーマ。皆さんはただただ労働基準監督署がいつ来るかいつ来るかビクビクしていませんか? 国は働き改革を総合的かつ継続的にするために整備を急ピッチですすめています。それは私達にどのような影響があるのでしょうか? 働き改革の具体的な説明、それに伴う労働基準監督署の動きを実際の事例紹介、そしてこれからの展望を話していただきます。

ビクビクしているだけでは、解決も良い経営も出来ません。そしてこれから私たちは経営者(使用者)としてどうすればよいのか? 何を目標していけばよいのか? きっと答えが出てくるでしょう。今回もざっくばらんに最重要課題を学ばせて頂きます。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

置賜支部

ビアパーティー~名物「義経焼」を囲んで~

2018.7.20(金) 18:30~

場所: なみかた羊肉店
米沢市東2丁目1-30 ☎0238-24-6887

参加費: 4,500円

会員同士がつながりを深め、顔と企業が見える支部をめざし、7月例会は毎年恒例のなみかた羊肉店さんにてビアパーティーを行います。

ビアパーティーはお互いを知り合い、交流を深める絶好の機会です。

経営者の熱い思いが企業と地域の未来を切り拓く鍵です。明日の経営の種を持ち帰りましょう。ゲスト参加大歓迎です。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

庄内支部

「会議設計とファシリテーション」1day講座 ~グループ長の力量を高め、活気ある学べる討論に~

2018.7.25(水) 18:30~21:00

場所: 鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

講師: リードクライム(株) 代表取締役 西 直人氏
参加費: 会員及び社員 無料 ゲスト 1,000円(資料代)

「なぜグループ討論が必要か?」「なぜグループ長の資質を身につける必要があるか?」グループ討論こそが、同友会での『学びと実践』の成否を決めます。それにはグループ討論の円滑な進行が必要です。有意義な学びが得られる必要もあります。しかし、それらはグループ長の資質に大きく左右されます。資質を磨くには単にスキルを習得するだけでは足りません。本質を身につけて自分のものにしなければなりません。本講座は、会議設計とファシリテーションの基礎を学び、グループ長の資質を高めることを目的としています。

ファシリテーションとは? 会議をスムーズに進行する役割の人を、「ファシリテーションする人」という意味で、ファシリテーターと呼びます。ファシリテーションは、現在のビジネスパーソンには欠かせないスキルとなっています。

時間ばかりかかって何も決まらない会議・場の空気が重苦しい会議・意見の出ない会議などでお困りの方にもおすすめ。多くの皆様のご参加をお待ちしております!

新庄最上支部

社内会議で組織風土が変わる!

2018.7.18(水) 18:30~21:00

場所: 新庄市民プラザ 第5・6研修室
新庄市大手町1-60 ☎0233-22-4200

報告者: (株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司 薫氏

経営指針を作成するも業績は思ったとおりにか、焦る毎日…。それでもあきらめず、同友会で学んだことを会社に持ち帰り、少しずつ仕組みをつくらせてきました。

管理する項目を決め、データを収集し、その数字を社員と共有することにより定期的に成果と改善点についての話し合う場ができてきました。家庭をもった女性だけの職場で、スタッフの一人ひとりが輝く会社が見えてきました。

これからもビジョンの形成と浸透を目指す、想いをこめた庄司社長の報告です。ぜひ、お誘い合わせの上ご参加お待ちしております。

第2回理事会報告

◆日時:2018年6月13日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形ビッグウイング ◆議長:後藤副代表理事
◆出席者:(敬称略)西塔、菅原、後藤、阿部(和)、佐藤(啓)、赤塚、齊加、阿部(秀)、阿部(敦)、武内、八代、板垣、佐藤(洋)、志田、松岡、大久保、笹林、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

西塔代表理事が「代表理事だけ、支部長だけが頑張るのではなく、ここにいる全員が力を発揮し自ら決めた目標を果たす。言われたからではなく自分で決めたことを自分でやる。自分たちがよいと思って決めたことなので、良いスタートを切るために頑張ってください」と開会挨拶を述べました。

■学習会

●報告者:武内賢二氏

■報告事項

- 1)山形新卒者等人材確保推進本部第1回会議 5/15
佐藤共同求人委員長出席
佐藤啓理事より労働局や県の教育・行政の役職の方が参加した会議で、今年3月に卒業した学生の就職率が過去最高であったことが、確認されました。
- 2)第9回さらやか経営者セミナー 5/31
来賓として参加した西塔代表理事が、青山学院大学の原監督とニトリの似鳥会長の講演から、共通点として、「何年後にこうすると決めて達成している」「学生・社員を大事にして信用している」ということを紹介しました。
- 3)中同協中小企業憲章キックオフ集会 6/5
西塔代表理事が、閣議決定された中小企業憲章を国会決議に、中小企業の日の制定など、同友会では運動しており、各政党の議員が報告し、中小企業4団体があいさつをしたが、挨拶の内容も現状を報告するような形に変わってきたと報告しました。
- 4)中同協第5回幹事会 6/6
西塔・菅原代表理事、後藤副代表理事出席
菅原代表理事が、主な議題は定時総会などで、また幹事会自体を学びの場とする時間が必要ではないかという提案があったことを報告しました。
- 5)各支部・委員会・部会よりの報告
支部長、委員長、部会長より5月の活動報告と6月の予定について報告がありました。
- 6)2018年度5月月次決算報告(矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 1名入会 2名退会 6月13日現在401名

■討議事項

議題1:第34回定時総会のまとめ

実行委員長の佐藤淳理事から資料を基に今回の特徴と次回への課題等のまとめ、収支報告が提案され、承認されました。

議題2:役員研修会について

西塔代表理事より提案があり、役員研修会の日程・会場、タイムスケジュールが決まりました。

- 第1講 労使見解を学び、人を生かす経営をめざそう
日時:8月28日(火)14:00開会
会場:山形テルサ 大会議室
講師:エイベックス(株) 会長 加藤明彦氏(愛知同友会会長)
- 第2講 9月6日(木)~7日(金)
北海道・東北ブロック支部長地区長交流会

場所:青森

- 第3講 同友会らしい役員とは~学べる組織・減らない組織・増える組織~
10月30日(火)14:00開会
会場:山形テルサ 研修室B・会議室
講師:中同協会長 広浜泰久氏(㈱ヒロハマ会長・千葉同友会)

議題3:中同協第50回定時総会in宮城について

現在の参加申込者を確認し、参加目標40名に向けて参加呼びかけをしていくこととなりました。

議題4:組織委員会より

菅原代表理事が、準会員制度と会員資格について検討したこと、今年準備委員会を立ち上げる予定の青年部は、佐藤淳理事が準備委員会の委員長となり、基本理念と目的を明確に打ち出し、10月にキックオフ例会を開催することが決まったことを報告しました。

議題5:事務局の諸規定の作成について

西塔代表理事が、車輛管理規定・マイカー通勤規定・セクシュアルハラスメント防止規定・パワーハラスメント防止規定の原案について説明をし、理事から意見を6月末までに集約することとなりました。また、後藤副代表理事からは、理事各社でも自社の規定づくりの参考にしてほしいとの要請がありました。

議題5:広告掲出について

会員より提案があった広告について検討の結果、掲出しないことが決まりました。

■その他

- 1)行政・他団体との予定
・山形市より「山形市売上増進支援センター Y-biz」の開設に向けての依頼がありました。
・(株)フィデア総研より東北経済局の「平成30年度東北地域中小企業・小規模事業者人材確保・定着等支援事業」の委託を引き受けるにあたり、協力の依頼がありました。
・山形県が実施している「山形県若者定着奨学金返還支援事業」の産業団体等連携枠に、共同求人委員会参加企業を中心に山形同友会として登録していくことを進めていくという報告がありました。
- 2)今後の予定

中同協 第21回女性経営者全国交流会	6月21日(木)~22日(金)埼玉
中同協 第50回定時総会	7月5日(木)~6日(金)宮城
中同協 第1回幹事会	7月6日(金)宮城
幹部社員研修会 第1講	7月12日(木)18:00~ 山形ビッグウイング

3)第3回理事会日程

- 日時:7月11日(水)午後3時~午後5時
- 会場:山形ビッグウイング

■閉会挨拶

菅原代表理事が「第2回理事会ということでそれぞれの組織目標、取り組まなければいけない課題、前向きな報告が開始している。これを広く会員の皆様にご協力をお願いしたい」と述べました。

新会員紹介

◇ 鈴木 亜矢氏
Johndana ジョンダーナ
代表
エステティック業
山形支部

会員変更

役職変更

社名変更

- (株)アイ・タックル
代表取締役 水沢正志氏→取締役経営企画室長 岡崎俊弘氏(さくらんぼ支部)
- (株)セロン東北
執行役員庄内最上地区統括部長 片倉登氏→執行役員酒田支店長 菅原政久氏(庄内支部)
- 山形印刷(株) 代表取締役 岡崎正悦氏→専務取締役(山形支部)
- 司法書士柴田事務所 代表 柴田慶一氏→
行政書士法人プロゲート・司法書士柴田事務所(新庄最上支部)

同友やまがた7月号 (2018年7月1日発行/通巻304号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴェン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp



【社員共育委員会】

外国人労働力について

社員共育委員会は毎月第3水曜日に委員会を事務局にて開催しています。

その中で「学習会」という時間をとり、決められた報告者が問題提起をし、討論しています。

先月はH社長から、「外国人労働力」について現状をお話して頂きました。

.....

畜産は農業の中でも法人化の動きが早かった方だが、それでも3Kの印象はぬぐえず、以前から人手不足に悩まされている業界。自社では2007年から外国人技能実習制度を利用し、JITCOという機関を通じて実習生を受け入れている。

以前は社会的に実習生の権利が不十分なことが問題となっていたが、自社でも以前に改善し今は労働法に則った待遇を続けている。今回6名を受け入れており、この秋には更に3名を受け入れる予定。

また、3年という期間が制限される出稼ぎという性質上、働く目的、覚悟が「お金を貯める」事とはっきりしておりしっかりと働いてくれる。

課題として、文化・国民性・言語の違い、交通手段(彼らは自転車がメイン)、滞在期間制限で育成が難しいなどがある。外国人にとっては日本国内の地域はどこも一緒の感覚があり、東京の賃金の高さを理由に離れられてしまうという話も聞く。また、長時間残業してでも稼ぎたいという意識と、現状の労働環境改善取り組みとのギャップが生じており、対策としては定量化できる仕事を担当してもらい、その日の数値目標を達成しないと残業を許可しないこととしている。言語の壁は業務指示についてだけでなく、経営理念の浸透という面でも課題。

と自社の現状を赤裸々にお話して頂きました。

参加者からは、

- ・自社で外国人労働者の「とにかく稼いで国へ帰りたい」という意図をくみ取れず大阪へ転職されてしまったことがあった。今では制度を是正し、日本人と同じ水準で稼げるようにしている。
- ・印刷業界でもそういった声を聞く。大学の留学生のアルバイト、インターンのような、実習制度以外の働き方の例もある。
- ・日本語が通じない社員については、自社では教育担当があらゆるものを撮影、写真に名称を記入するという改善策を講じてくれたことがあった。会社側、現場側での工夫が外国人受け入れには必須。そういった意味では高卒受け入れと同じ。
- ・社員に工夫してもらおう仕組みづくりとしてはマンツーマンの教育担当をしっかりとつけ、責任や目標を設定してもらおう。
- ・●●君の教育担当は○○さん、ということはこの二人だけでなくほかの社員にも徹底して、指示命令システムを重視してもらっている。
- ・採用の面では現地採用が信頼を得る、知人を紹介してもらえるなどのメリットがある。諸外国の気迫から、自身もパワーをもらえる。
- ・受け入れ前に国民性などについての学習会を行ったことがあるが、先入観をへたに植え付けてしまったという反省がある。
- ・自社もいわゆる3Kともいわれる業種で採用も厳しく、今回の話を聞き自社でも真剣に考えるべきではないかと感じた。

等がありました。

少子高齢化が社会に及ぼす影響は計り知れないものがあります。

問題の一つとして「労働人口の高年齢化と減少」が挙げられ地方の中小企業では労働力不足に陥る可能性があります。

その対応策としては新しい労働力として「高年齢者」「女性」「障害者」「外国人」が挙げられています。

しかし、場当たりの労働力の補充ではなく、「どんな人でもいきいきと働ける企業づくり」を目的とした採用を考えなければならないのではないのでしょうか。

難しい時代に入ってきたと感じます。

.....

こんな学習会をしています。

自社の経営課題をお持ちになってゲスト参加してみませんか？

【次回社員共育委員会】

■日 時：7月18日（水）17:30～20:00（基本的に毎月第3水曜日に開催しています）

■会 場：山形同友会事務局（山形市南館 3-26-26 スタジオ・アヴァン 102 電話 023-645-5500）

※同友会事務局に電話1本でOK！ゲスト参加お待ちしております。

【女性部会】

女性部主催の全国行事の一つに、毎年開催される「女性経営者全国交流会」の参加、があります。6月の木金の二日間、全国各地が持ち回りで女性経営者、経営幹部、男性経営者も多数参加して「女性の感性」で生まれる経営課題を取り上げ学びあいます。今年、彩の国さいたまの開催でした。女性会員の皆様は、まだまだワークライフバランスの中で参加に思い切りが必要な方も多いと思います。また、男性会員も、日々の仕事の優先性で、全国参加が後回しになっている方も多いかもしれません。全国行事の学びで得られるものとして、地域性の異なる経営に数多く出会えることがあります。山形では常識と感じていることも、他の地域ではちがった形で実現していたり、自分の発想を超えた知識と出逢いが楽しいです。

ことさら「女性部」が発信する学びとは「生活者の視点」と、同友会では言うのですが、毎日会社で起こることに大切な事があり、とくに労使見解を実行するためには、小さなことに目を向ける、「人が生きる」ことに意識をもつ、と改めて感じる事が出来ます。

2日間、会社を、家庭を空けて、学びの場に出るためには、社員や家族の信頼と理解が必要。日々のコミュニケーションや、仕事の実績を積み上げ、お願いして任せて、感謝を伝える、それこそ大きな成長を得る、影の学びといえます。

来年は、「平和と豊かさ」を学び続ける広島同友会の主催です。「Hopeful Evolution and Innovation With All 私たちはここで生きていく～来んさい 見んさい 語りんさい～」とのテーマから、社会性・人間性の高い分科会内容になるのかと、いまから楽しみにしています。6/13・14、リーガロイヤル広島、と、今からスケジュールに加え、参加実現を思い描きまた頑張っておくと思っているところです。皆様も是非、予定表に加えてください！！ご一緒しましょう。